

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

| | |
|----|-------|
| 組織 | 自然環境課 |
| 職 | 課長 |
| 氏名 | 中村 義孝 |

| | |
|---|--|
| 組織の使命・役割 | 何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か |
| <p>石川県の豊かな自然環境の保全と多様な野生動植物の保護を進め、県民共有の財産として将来に継承していくとともに、広く県民に自然とのふれあいを通じて人間が多様な自然・生物と共に生きることの重要性を知ってもらい、県民の環境モラルの向上を図ることにより、自然と人とが共生する社会の実現を目指す。</p> | |



| | |
|--|--|
| 組織の目標 | 使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か |
| (定性的目標) | 何をどのような状態にしたいか |
| <p>① 多様な自然環境を体系的に保全再生し、野生生物の生息環境やすぐれた自然景観を将来的に継承していく。 (積極的な種の保存と適切な野生生物の保護管理)</p> <p>② 自然とのふれあいの場及び機会を充実させ、自然の中での楽しく深い体験を通じて自然の大切さを実感してもらうため、自然環境の保全のための活動団体等の充実を図る。 (生物多様性の恵みに対する理解の浸透)</p> | |

| | | | | | |
|-------------------|------------------------|-------------|------------|-------------|-----------------------------------|
| (定量的目標) | 具体的な指標、目標値を設定する | | | | |
| 目標とする成果指標 | 現行値 | 年(度) | 目標値 | 年(度) | 目標値の設定根拠(他県との比較など) |
| ① 絶滅危惧 I 類(※1)の種数 | 273 種 | H22 年度 | 183 種 | H22年度(※3) | 石川県環境総合計画 |
| ・指定希少野生動植物種(※2)の数 | 15 種 | H22 年度 | 20 種 | H22年度(※3) | 石川県環境総合計画 |
| ② 自然公園の利用者数 | 6,938 千人 | H21 年度 | 9,000 千人 | H23年度 | 自然とのふれあうことのできる貴重な場所である自然公園の持続的な利用 |
| ・いしかわ自然学校への参加者数 | 34,407 人 | H21 年度 | 30,000 人 | H22年度(※4) | 石川県環境総合計画 |

(※1) 「いしかわレッドデータブック」に掲載された希少野生生物のうち、最も絶滅のおそれが高いランクに位置付けられた生物。

(※2) 指定希少野生動植物種:(1)種の存続に支障を及ぼす程度に種の個体数が著しく少ない物、(2)種の個体数が著しく減少しつつある物、(3)種の個体の主要な生息地等が消滅しつつある物、(4)種の個体の生息又は生育の環境が著しく悪化しつつある物、(5)前各号のほか種の存続に支障を及ぼす事情がある物、の(1)~(5)に該当するもので、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」により指定し捕獲、採取、殺傷又は損傷等の禁止と保護対策を図る。

(※3) H23以降も目標達成に向け努力

(※4) H23以降もさらなる拡大(抑制)に向け努力



| | |
|--------------------------|---|
| 23年度に重点的に取り組むべき課題 | 左記の具体的な内容を記載する |
| ① 希少種の保存 | 希少野生動植物の生息状況等を継続的に調査研究し、その保護のため種の指定や保護活動に取り組むとともに、トキの繁殖に向けた取り組みを行う。 |
| ① 野生鳥獣の保護と管理 | 保護と被害対策とのバランスやクマなどの異常出没の実態などを考慮しながら、野生鳥獣の適切な保護・管理を実施する。 |
| ② 里山里海での体験の推進 | いしかわ自然学校のプログラムの充実を図る。 |